

2023年1月10日  
一般社団法人日本鉄鋼連盟  
標準化センター事務局

## 2022年度 第4回鋼材規格三者委員会 議事録

1. 日時： 2022年12月21日（水）13:30～16:00
2. 場所： ハイブリッド会議（対面：鉄連第2会議室＋Web：Teams）
3. 出席者：（敬称略）
- 委員長：榎（東京大学）
- 副委員長：緒形（物質・材料研究機構）、田中（東京理科大学）、藤原（EMF 応用計測）
- 委員：相川（日本水道協会）、沖（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、  
河口（不二越）、熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸鋼協会）、  
桑原（東京農工大学）、後藤（大同特殊鋼）、近藤（日産自動車）、酒井（神戸製鋼所）、  
桜井（日本鋼構造協会）、堤（日本規格協会）、富永（三菱重工業）、  
中澤（JFEスチール）、林（元理化学研究所）、藤井（日本試験機工業会）、  
藤田（栄）（北海道大学）、藤田（慎）（日本金属継手協会）、  
松本（和）（日本海事協会）、松本（聡）（日本製鉄）、  
森山（日本アルミニウム協会）、山口（九州工業大学）  
（委員長・副委員長・委員計26名）
- 欠席：小野田（日鉄SGワイヤ）、種物谷（高圧ガス保安協会）、富山（土木研究所）、  
山田（東京大学）
- 幹事：玉田（鉄鋼連盟）
- 関係者：伊藤（実）（経済産業省）、甲斐（国土交通省）（関係者計2名）
- 事務局：寺澤・楠野・井田・山本・越川・齋藤・阿部・石川（鉄鋼連盟）（事務局計8名）

## 4. 議題及び配布資料

### 1) 報告事項

資料1-1：2022年度 第4回鋼材規格三者委員会名簿

資料1-2：2022年度 第2・3回鋼材規格三者委員会議事録

### 2) JIS規格審議

<改正>

資料2：JIS G 0201 鉄鋼用語（熱処理）

資料3：JIS G 0203 鉄鋼用語（製品及び品質）

資料4：JIS G 3103 ボイラ及び圧力容器用炭素鋼及びモリブデン鋼鋼板

資料5：JIS G 3140 橋梁用高降伏点鋼板

資料6：JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

資料7：JIS G 4052 焼入性を保証した機械構造用鋼材（H鋼）

資料8：JIS G 4053 機械構造用合金鋼鋼材

資料9：JIS Z 2242 金属材料のシャルピー衝撃試験方法

資料 10 : JIS G 1226 鉄及び鋼—すず定量方法

—よう化物抽出分離フェニルフルオロン吸光光度法

資料 11 : JIS G 1236 鉄及び鋼—タンタル定量方法

—ふっ化物・ビクトリアブルーB 抽出分離吸光光度法

資料 12 : JIS G 3442 水配管用亜鉛めっき鋼管

資料 13 : JIS G 4903 配管用継目無ニッケルクロム鉄合金管

資料 14 : JIS G 4904 熱交換器用継目無ニッケルクロム鉄合金管

資料 15 : JIS G 0801 圧力容器用鋼板の超音波探傷検査方法

資料 16 : JIS G 0901 建築用鋼板及び平鋼の超音波探傷試験による等級分類及び判定基準

<廃止>

資料 17 : JIS G 3469 ポリエチレン被覆鋼管

3) JIS 原案作成に係る事前調査表の審議

資料 18 : JIS G 1228-3 鉄及び鋼—窒素定量方法

—第 3 部：不活性ガス融解—熱伝導度法（追補改正）

資料 19 : JIS Z 2241 金属材料引張試験方法（追補改正）

4) 定期見直し案の審議

資料 20 : 2023 年度 JIS 定期見直し調査について

## 5. 議事内容及び結果

委員交代の紹介及び榎委員長のご挨拶の後、以下の議事が進められた。

**5.1** 幹事から、委員会名簿及び 2022 年度第 2 回及び第 3 回鋼材規格三者委員会の議事録が報告された。これらの議事録は、会議後に既に承認されており、特にコメントはなかった。

**5.2** JIS 規格審議案件の改正 15 件及び廃止 1 件について、事務局から内容が説明され、以下の質疑応答があった。

1) JIS G 3140 に関して、“機械的性質”の用語の使用について確認された。事務局から、“幅広く用いられている用語であるが、使用実態を調査してみたい。”とコメントされた。

2) JIS Z 2242 に関して、計装的な衝撃試験方法を取り入れる計画について確認された。事務局から、具体的な提案が提出された時点で検討を行うことがコメントされた。

上記の他、改正 JIS 案は、規格ごとのコメントテンプレートに記載されたとおり、修正することとし、改正 15 件及び廃止 1 件は、いずれも承認された。

**5.3** JIS 原案作成に係る事前調査表について、事務局から内容が説明され、以下の質疑応答があった。

1) JIS Z 2241 に関して、測定値の不確かさを考慮したものであるかと確認された。事務局から、不確かさについては、要求事項として規定しておらず、不確かさの見積もりを参考事項として記載していることが説明された。

2 件は、いずれも承認された。

**5.4** 2023 年度定期見直し調査について、事務局から内容が説明され、承認された。なお、パブコメで意見が出された場合、再度内容を審議することが確認された。

**5.5** その他

幹事から、2023年度第1回鋼材規格三者委員会は、7月26日（水）午後に、ハイブリッド会議として開催することが説明された。なお、必要に応じて、臨時案件についての書面審議を行うことを確認した。

以上

## 2022年度 第5回鋼材規格三者委員会（書面審議） 議事録

1. 日 時： 2023年1月31日（火）～2月14日（火）

2. 場 所： 書面審議

3. 出席者：（敬称略）

委員長：榎（東京大学）

副委員長：緒形（物質・材料研究機構）、田中（東京理科大学）、藤原（EMF 応用計測）

委 員：相川（日本水道協会）、沖（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、

小野田（日鉄SGワイヤ）、河口（不二越）、熊井（日本検査キューエイ）、

栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、後藤（大同特殊鋼）、近藤（日産自動車）、

酒井（神戸製鋼所）、桜井（日本鋼構造協会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、

堤（日本規格協会）、富永（三菱重工業）、富山（土木研究所）、中澤（JFEスチール）、

林（元理化学研究所）、藤井（日本試験機工業会）、藤田（栄）（北海道大学）、

藤田（慎）（日本金属継手協会）、松本（和）（日本海事協会）、

松本（聡）（日本製鉄）、森山（日本アルミニウム協会）、山口（九州工業大学）、

山田（東京大学）  
（委員長・副委員長・委員計30名）

関係者：伊藤・富永（経済産業省）、檜原・甲斐（国土交通省）（関係者計4名）

幹 事：玉田（鉄鋼連盟）

事務局：寺澤・阿部・石川・楠野・井田・山本・越川・齋藤・田谷（鉄鋼連盟）（事務局計9名）

4. 議題と配布資料

・2023年度 JIS 制定・改正・廃止案件の事前調査表の可否（資料1～資料39）

5. 決議年月日

2023年2月15日（水）

6. 結果

委員30名による書面審議の結果、いずれの審議案件も、下記の表のとおり、承認された。

なお、G1233（資料No.15）の期待効果欄について、“誤記がある。”とのコメントによって、次のとおりに修正する。

・修正前：“現行規格を分割制定することによって、…”

・修正後：“現行規格を改正することによって、…”

区分	JIS 番号	JIS 規格名称	資料No.	賛成	反対	結果
制定	G1212-1	鉄及び鋼－けい素定量方法－第 1 部：二酸化けい素重量法	1	30	0	承認
	G1212-2	鉄及び鋼－けい素定量方法－第2 部：硫酸アンモニウム鉄還元吸光光度法	2	30	0	承認
	G1212-3	鉄及び鋼－けい素定量方法－第3 部：アスコルビン酸還元吸光光度法	3	30	0	承認
	G1229-1	鉄及び鋼－鉛定量方法－第1部：硫化鉛沈殿分離モリブデン酸鉛重量法	4	30	0	承認
	G1229-2	鉄及び鋼－鉛定量方法－第2部：鉄分離ジフェニルチオカルバゾン抽出吸光光度法	5	30	0	承認
改正	G0202	鉄鋼用語（試験）	6	30	0	承認
	G0404	鋼材の一般受渡し条件	7	30	0	承認
	G0415	鋼及び鋼製品－検査文書	8	30	0	承認
	G0416	鋼及び鋼製品－機械試験用供試材及び試験片の採取位置並びに調製	9	30	0	承認
	G0558	鋼の脱炭層深さ測定方法	10	30	0	承認
	G0560	鋼のサルファプリント試験方法	11	30	0	承認
	G0589	鋼管の全周自動超音波厚さ検査方法	12	30	0	承認
	G1211-3	鉄及び鋼－炭素定量方法－第 3 部：燃焼－赤外線吸収法	13	30	0	承認
	G1215-4	鉄及び鋼－硫黄定量方法－第 4 部：高周波誘導加熱燃焼－赤外線吸収法	14	30	0	承認
	G1233	鋼－セレン定量方法	15	30	0	承認
	G3101	一般構造用圧延鋼材	16	30	0	承認
	G3106	溶接構造用圧延鋼材	17	30	0	承認
	G3119	ボイラ及び圧力容器用マンガンモリブデン鋼及びマンガンモリブデンニッケル鋼鋼板	18	30	0	承認
	G3129	鉄塔用高張力鋼鋼材	19	30	0	承認
	G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯	20	30	0	承認
	G3318	塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯	21	30	0	承認
	G3322	塗装溶融5.5%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	22	30	0	承認
	G3452	配管用炭素鋼鋼管	23	30	0	承認
	G3454	圧力配管用炭素鋼鋼管	24	30	0	承認
	G3455	高圧配管用炭素鋼鋼管	25	30	0	承認
	G3456	高温配管用炭素鋼鋼管	26	30	0	承認
	G3461	ボイラ・熱交換器用炭素鋼鋼管	27	30	0	承認
	G3462	ボイラ・熱交換器用合金鋼鋼管	28	30	0	承認
G3463	ボイラ・熱交換器用ステンレス鋼鋼管	29	30	0	承認	
G3464	低温熱交換器用鋼管	30	30	0	承認	

区分	JIS 番号	JIS 規格名称	資料No.	賛成	反対	結果
改正	G3505	軟鋼線材	31	30	0	承認
	G3506	硬鋼線材	32	30	0	承認
	G4109	ボイラ及び圧力容器用クロムモリブデン鋼鋼板	33	30	0	承認
	G4401	炭素工具鋼鋼材	34	30	0	承認
	H1270	ニッケル及びニッケル合金－分析用試料採取方法及び分析方法通則	35	30	0	承認
	K6744	ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯	36	30	0	承認
	Z2244-1	ビッカース硬さ試験－第1部：試験方法	37	30	0	承認
廃止	G1212	鉄及び鋼－けい素定量方法	38	30	0	承認
	G1229	鉄及び鋼－鉛定量方法	39	30	0	承認

以上

## 2022年度第6回鋼材規格三者委員会（書面審議）議事録

1. 日時： 2023年3月14日（火）～23日（木）

2. 場所： 書面審議

3. 出席者：（敬称略）

委員長：榎（東京大学）

副委員長：緒形（物質・材料研究機構）、田中（東京理科大学）、藤原（EMF 応用計測）

委員：相川（日本水道協会）、沖（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、

小野田（日鉄SGワイヤ）、河口（不二越）、熊井（日本検査キューエイ）、

栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、後藤（大同特殊鋼）、近藤（日産自動車）、

酒井（神戸製鋼所）、桜井（日本鋼構造協会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、

堤（日本規格協会）、富永（三菱重工業）、富山（土木研究所）、中澤（JFEスチール）、

林（元理化学研究所）、藤井（日本試験機工業会）、藤田（栄）（北海道大学）、

藤田（慎）（日本金属継手協会）、松本（和）（日本海事協会）、

松本（聡）（日本製鉄）、森山（日本アルミニウム協会）、山口（九州工業大学）、

山田（東京大学）  
（委員長・副委員長・委員計30名）

関係者：伊藤・富永（経済産業省）、檜原・甲斐（国土交通省）  
（関係者計4名）

幹事：玉田（鉄鋼連盟）

事務局：寺澤・石川・楠野・井田・山本・越川・齋藤・田谷（鉄鋼連盟）  
（事務局計8名）

4. 議題と配布資料

・ JIS 規格審議（改正）

① JIS G 0555 鋼の非金属介在物の顕微鏡試験方法  
（資料2）

5. 決議年月日

2023年3月24日（金）

6. 結果

委員30名による書面審議の結果、次のコメントがあった。

1) 7.2.2の“注<sup>3</sup>”を“注<sup>3</sup>”に修正する（編集上の修正）。

改正JIS案は、上記のコメントとともに、コメントテンプレートに記載されたとおり、修正することとし、承認された。

審議事項	資料番号	賛成	反対	結果
JIS G 0555 鋼の非金属介在物の顕微鏡試験方法	2	30	0	承認

以上



## 2023年度 第1回鋼材規格三者委員会（書面審議） 議事録

1. 日 時： 2023年4月4日（火）～12日（水）

2. 場 所： 書面審議

3. 出席者：（敬称略）

委員長：榎（東京大学）

副委員長：緒形（物質・材料研究機構）、田中（東京理科大学）、藤原（EMF 応用計測）

委 員：相川（日本水道協会）、荒井（日本製鉄）、沖（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、  
小野田（日鉄SGワイヤ）、河口（不二越）、熊井（日本検査キューエイ）、  
栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、後藤（大同特殊鋼）、近藤（日産自動車）、  
酒井（神戸製鋼所）、桜井（日本鋼構造協会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、  
堤（日本規格協会）、富永（三菱重工業）、富山（土木研究所）、中澤（JFEスチール）、  
林（元理化学研究所）、藤井（日本試験機工業会）、藤田（栄）（北海道大学）、  
藤田（慎）（日本金属継手協会）、松本（日本海事協会）、  
森山（日本アルミニウム協会）、山口（九州工業大学）、山田（東京大学）

（委員長・副委員長・委員計30名）

関係者：伊藤・富永（経済産業省）、檜原・甲斐（国土交通省）（関係者計4名）

幹 事：玉田（鉄鋼連盟）（幹事 1名）

事務局：越川・寺澤・石川・楠野・井田・山本・齊藤・田谷・松本・神戸（鉄鋼連盟）  
（事務局計8名）

4. 議題と配布資料

・ JIS 規格審議（改正）

① JIS G 1228-3 鉄及び鋼—窒素定量方法—第3部：不活性ガス融解—熱伝導度法（追補1）

（資料2）

② JIS Z 2241 金属材料引張試験方法（追補1）

（資料3）

5. 決議年月日

2023年4月13日（木）

6. 結果

委員30名による書面審議の結果、下表のとおり結果であり、JIS案は、コメントテンプレートに記載されたとおり、修正することとし、承認された。

審議事項	資料番号	賛成	反対	結果
<b>JIS G 1228-3</b> 鉄及び鋼－窒素定量方法－第3部：不活性ガス融解－熱伝導度法（追補1）	2	30	0	承認
<b>JIS Z 2241</b> 金属材料引張試験方法（追補1）	3	30	0	承認

以上